

令和3年度 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 令和 4年 4月

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	2	1		・長期休みなど利用者の多い時、2棟がつながりテラスを利用できるようにしたい ・狭いと感じる時もある ・狭いが利用者を調整することで対応
	2	職員の配置数は適切である	3	1	3		・職員が足りなく、心細い日もあった ・スタッフが増えて少しゆとりができた
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	3			・座位保持する椅子や良肢位が保持できるクッションが欲しい ・洗面所やトイレに物やゴミが置いてあることがある
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6		1		・おもちゃやクッションなどもう少しあると良いと思う ・活動前後で清掃を行っている ・感染対策を徹底する
業務 改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している		1	5	1	・ミーティングを定期的に行っていく
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3		1	3	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2	1	3	1	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			3	4	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	1			・利用者が少ない日に、他事業所等に研修に行きたい ・定期的に1か所だけではなく、いろいろなところでの研修が必要だと思う
適切 な支 援の 提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4	2		1	・ニーズ、課題をミーティングで話し合ったり、情報の共有に努めている
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3		2	2	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3	2	2		・具体的な支援内容となるように心がけている
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6	1			・スタッフ間の連携を密に、支援計画に沿った支援を心がけている
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	2	2	2	1	・今後行っていく ・全員で活動プログラムを話しあう機会を作る

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	工夫している点、課題や改善すべき点など
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	1		1	・毎月の制作活動は保育士が工夫しており、散歩、シャボン玉、手遊びなどはその日のメンバーで決めている ・月案、週案、日案の必要性を感じる ・朝の会は固定し、利用者に分かり易くしている
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	4	2	1		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	1	2	1	・行うようになってきたが、その日の利用者の担当決めなど役割分担についてはまだ不十分（送迎についてはOK） ・1日の流れ、活動プログラムを確認するミーティングの時間を設ける
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		1	5	1	・口頭だけではなく、申し送りノートでも伝達する
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	2			・保護者からの要望や意見は記録に残し、改善できるように努めている ・記録を取るだけではなく、その後話し合いを行い、検証・改善につなげたい
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4	1	1	1	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している		1	1	5	・サービス担当者会議の結果はスタッフ間で情報共有する
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	2	1	2	2	・関係者や関係機関と連携した支援内容はスタッフ間で情報共有する
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	4	2		1	・学校への送迎時にその日の体調変化聞き取りし、その日のスタッフに伝達している
	24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	4		1	2	・病院側や専門職との連携が図られるように努めている
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3		2	2	・保育園の先生が来訪し、子どもの情報共有などを行った
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3		1	3	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	1		1	・他の児童発達支援センターなどとも連携したい
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	1	3	2	・コロナ感染対策のため行えていない ・テラスなど外でスタッフの子どもたちと交流する機会を設けても良いと思う

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	わからない	工夫している点、課題や改善すべき点など
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1		5	1	・コロナ感染対策のため行えていない
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	3			・送迎時に状況を伝えたり、聞いたりして、短時間の中で発達の状況や課題について共通理解できるように努力する ・書面だけでは十分には伝えられない
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	1	2	2	・今後の課題です
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3			4	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	1		1	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	1	3		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			6	1	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4	2		1	・相談、申し入れがあった時は、記録に残したり、他スタッフ、上司に相談して対応できるように努力している
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している			6	1	・年4回程度実施する予定
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6	1			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	2			・保護者が納得するまで伝達するように努めている
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	1	3	1	・コロナ感染対策のため行えていない
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している		2	4	1	・今後行う予定 ・感染症対応マニュアルをもとに訓練する必要あり
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている			5	2	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5	1		1	・予防接種の状況は把握する必要がある
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	1		3	・該当者がいない
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	2			・ヒヤリハットは記入しているが、事例集による情報共有が十分ではない ・少しでも何かあったら話し合いが必要

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	工夫している点、課題や改善すべき点など
満足度	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3		2	2	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	1	1	1	4	・支援計画に記載するように努めている

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

公表：令和 4年 4月

保護者等数（児童数） 10 回収数 7 割合 70%

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない		
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	3	3		1	・きれいで遊びやすそうです	・テラスなどを活用して広く利用できるように工夫したい
	2	職員の配置数や専門性は適切である	3	1		3	・人数が沢山いて安心してあずけられました	・基準以上の職員を配置しています
	3	事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5			2	・バリアフリーはちゃんとしていました	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている	6			1	・新しく清潔でした	・整理整頓に心がけています ・毎日、利用前後に掃除、消毒をしています
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	6			1		
	6	支援計画には「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4			3		
	7	支援計画に沿った支援が行われている	6			1		
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	6	1			・制作物やサービス提供記録から色々やっていただいているようです	
	9	障害のない子どもと活動する機会がある			2	5	・必要ないと思います ・交流をしているのか分かりません	
	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	6		1		・最初にきちんと説明していただきました	・契約前に説明しています
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	5		1	1		
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニングiv等）が行われている			4	3		・家族支援プログラムは今後の課題となっています
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	5	2			・帰りの受け渡し時やサービス提供記録にいろいろ書いてくれています	・送迎時の慌ただしい時間ではありますが、できるだけ丁寧にかつ簡潔にご報告するよう努めてまいります

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
保護者への説明等	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	4	2	1		・コロナで面談がなくなりました	
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている			3	4	・他の保護者の方とお会いしたことがない	
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	4	2		1	・LINEにて日程相談した時など早めに対応してくださいました	
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	5	2			・LINEやサービス提供記録で行っている	
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている			3	4	・ホームページは見えていません	・ホームページをリニューアルしました ・会報を配布します
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	5			2	・大丈夫だと思います	
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	1		2	4	・非常用袋など用意するように言われている	
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている		1		6		・避難経路は決まっているので、今後計画予定です
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしている	5			2	・帰ってきた時はいつも楽しそうにしています	
	23	事業所の支援に満足している	5	2			・楽しそうで、できることも増えたので有り難いです	

・病院側や専門職との

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。